

ブラジル福岡県人会

中村 クリスチアネ 小百合

福岡教育大学教育学部

この夏のこと

6月の終わりに夏がやってきました。「やっぱり夏だなー」とすぐ感じたのは主に二つのことです。まず一つ目は、厳しい暑さです。うわー、日本の夏は本当に暑いですね。エネルギーを節約するため、エアコンをつけないままでいましたが、つけないと、まるでサウナにいるように部屋で汗をジャンジャンかくので、我慢出来ませんでした。エアコンのおかげで毎日気持ち良く寝ていましたが、電気料金が少しくつかったです。二つ目はセミです。前はカラスの声でいつも起きていましたが、夏に入ると、セミの鳴き声があまりにも大きすぎて、もうカラスの声が聞こえなくなり、本当に驚きました。このようにとても暑くて少しやかましい雰囲気の中で、私の夏は始まりました。

夏と言えば海！山口さんの招待で、糸島の海岸でバーベキューをしました。いい天気、海は気持ち良く、美味しい食べ物や飲み物もたくさんあり、色々な人と出会って、とても楽しい一日でした。初めてジャパンスタイルの海岸バーベキューを体験して、すごく嬉しかったです。さらに、松田さんの家、関さんの家、武藤さんの別荘にもバーベキューがあつて、いつもごちそうばかりで最近少し太ってきたと思います。

7月8日から19日までは子弟招へい事業に参加しました。ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、ペルー、メキシコ、アメリカ、ハワイからの8カ国の児童や引率者と一緒に色々な場所へ行って、様々な体験をして、この12日間を楽しんで過ごしました。三年前に私は引率者として子弟招へい事業に参加することが出来ました。内容は大体同じでしたが、経験はやはり違うので、二回もこのプログラムに参加することは、とても貴重な機会だと思いました。今回、最も強く印象に残ったのは、母国に帰ってからの参加者の協力の大切さを理解することでした。個人的には通訳の練習ができ、スペイン語をもっと話せるようになり、人間関係について勉強し、たくさんの友達を作って、とても嬉しかったです。子供たちが喜んで自分の国へ戻るのを見て、「日本が大好きになった」、「大きくなったら留学生として福岡に戻りたい」と聞いて、このプログラムは本当に効果的だと思いました。この事業を通して、参加者は日本の文化をもっと知り、他国の子供たちと交流を深め、自分の先祖の地元について調べることができ、自分や世界についての視野を広げることができると思います。自分のルーツの福岡を知る機会である子弟招へい事業は、私達海外県人会と福岡をつなぐとても素晴らしいプログラムです。これからも続いていく事を希望して、私もできるだけ頑張りたいと思います。

大学の前期の授業は8月10日に終わりました。単位は重要ではありませんでしたが、試験にもチャレンジしてみました。難しかったけど、そのおかげでもっと勉強を頑張れたと思います。福教大の留学生が12人帰国しました。お別れは寂しかったですが、短い間でもいいお友達を作られて良かったと思い、またいつか会える日を楽しみにしています。そして後期に来る新しい留学生に会うのも楽しみです。

仕事で一週間姫路に来ていた兄や、十年以上会っていなかったいとこや、グローバルステージプログラムの友達にも会えました。楽しい時間を過ごせて友情や家族の縁を心深く感じてとても嬉しかったです。

久留米花火大会の美しさに感動し、北九州わっしょい百万祭りの力を感じ、菅崎宮の祭りで自然の大切さを考え、ブドウ狩りでブドウの甘さを味わい、長崎、八女、湯布院や別府の魅力に触れ、日本と日本の文化をもっと知ることが出来ました。久しぶりに訪れた姫路、大阪、ユニバーサルもとても懐かしくて楽しかったです。ボランティアの体験も素晴らしかったです。福岡のフェスタ・ド・ブラジルではブラジルの食べ物、飲み物、音楽やダンスがあって、少しは母国の雰囲気を感じました。ブラジル人、日本人、外国人がみんな一緒に踊っているのはとても素敵でした。熊本では自然の力に驚きましたが、人間の力にも感動しました。地震は多大な被害を与えましたが、多くの人が一生懸命頑張って少しずつ街の再建をしています。「がまだすばい」という気持ちがすごく伝わりました。

ずっと昔からの夢を二つ叶えることが出来ました。一つは、大好きなひまわりを能古島の花畑で見て、元気をたくさんもらいました。そして、もう一つは、富士山の頂上まで登って、日の出を見られたのが最高でした。登りも下りもとてもきつかったけど、風、寒さ、疲れや痛みに負けずに頑張って色々な困難を克服して、自分も少し強くなったと思います。

今年の夏は、私にいい思い出をこんなにたくさん与えてくれました。一生忘れられない夏です。今はもう秋の涼しい風が吹き始めました。そろそろ夏の終わりです。でも、私の夏休みの終わりまでは、まだ3週間あります。これからも美しい思い出をたくさん作りたいです。

ブラジル福岡県人会
浅野 レナン ゆうじ

九州大学大学院 経済学府

この夏のこと

福岡市に住んで5ヶ月経ちました。学校の前期の授業も終わり、今は夏休み中です。日本の夏の暑さは思ったより厳しくて、ブラジルの海岸の気候に似ていると思います。

家族会と国際交流センターと学校の先生と友達のおかげで、この夏は色々な面白い活動やイベントなどに参加でき、よかったです。

学校のイベントは、「Global Seminar」と「Potluck-Party」でした。家族会と国際交流センターのイベントは、太宰府での田植え、生け花のワークショップ、子弟招へい事業、色々なシュラスコのご馳走に、久留米と北九州の夏祭や熊本でのボランティア活動、下関と別府と由布院への旅行やブドウ狩りなどでした。本当に色々な日本文化を体験しました。すごく嬉しいです。

6月の太宰府での田植えはちょっと気持ち悪く感じましたが、稲と田んぼに触れる体験が面白かったです。それと、子供達が川の虫を捕まえてとても楽しんでいました。同じ日に、国際広場の生け花のワークショップに参加しました。先生が有名な方で、みんながきれいな生け花を作れました。

7月の子弟招へい事業では、12日間、海外県人会の子供達と色々な福岡の文化とルーツのことを一緒に経験しました。たとえば、小倉城、いのちのたび博物館、宗像大社やトヨタ工場を見学し、和食を作って食べ、書道や、茶道、太鼓、浴衣の着付けや避難訓練をし、小学生との色々な活動と遊びなどでした。すごかったです！私にもほとんど初めての経験でした。特に小学生との活動は、一番面白かったと思いました。子弟招へい事業は、県人会の国と日本との関係を将来に渡り守るという目的は、本当に重大だと思います。子供達が、このような大切な機会から日本との架け橋になるために今から準備をはじめるとうまくできる可能性は高いと思います。

7月にあったスペシャルなことは、私の誕生日でした。「ピザパーティ」を開いて、多くの日本で作った友達と留学生と家族会と国際交流センターの方と一緒に遅くまで祝ってもらいました。

学校のイベントでの「Potluck-Party」は、九大の留学生が自分の国からの料理を作って、みんなと一緒に分け合うように持ってきました。みんなが、色々な国からの料理を食べることができ、すごかったです！それに、中国の留学生に伝統的で面白い演奏を紹介してもらいました。「Global Seminar」は、夏休みの間の特別の授業でした。スウェーデンからの先生の発表で面白い国際経営を学びました。

8月に夏休みが始まりました。色々な夏祭りや旅行に行きました。最初に、家族会に久留米の花火大会に連れていってもらいました。花火は、きれいで大きくて長い時間見ました。次の日は、家族会に北九州と下関を案内してもらい、夜には、わっしょい百万夏祭りに連れていってもらいました。小倉城と飾りはすごくきれいでした。

家族会に熊本と大分県へ連れていってもらいました。行ったところは、日本に来る前に是非行きたかったところでした。例えば、巖流島、関門海峡、別府の地獄温泉、阿蘇山、由布院などです。

素晴らしかったです！たくさんのきれいな景色、それに熊本でのボランティア活動もやることで、もっと災害のことが分かり重要な勉強となりました。

この夏は、私のルーツのことも発見することができました。家族会のおかげで「須山」の祖母方の親戚と初めて会いました。須山の歴史を知り、関係をつなぎ直したのですごく特別でした！次の週、お盆にもう一度会うことができ、須山の親戚みんなを知ることができました。

夏祭りの中で、特に「Festa do Brasil」は面白かったと思います。美味しいブラジル料理があるし、ブラジル人に会ったし、びっくりしたことは、多くの日本人がブラジルの伝統的なことをうまく演奏していたので、すごく面白かったです！一番好きだったのは、「Nova Era」というボサノバのバンドの演奏でした。ポルトガル語でうまく歌っていたと思いました。

最後に、留学生と大阪を旅行し、USJを一緒に楽しみました。私の一番は、ジュラシック・パークでした。次に、色々な有名な町と観光地へ旅行しました。例えば、京都、奈良、姫路、岡山、広島、宮島や山口などです。全ての場所は初めてで、前からずっと行きたかったの、細かい旅行計画を作って、実現することで、すごく嬉しかったです！とてもきれいな世界遺産へ行って、ブラジルからと日本人の友達と出会い、たくさん写真をとって、大切な思い出になりました。この夏休みは、心に残っています。



ブラジル福岡県人会

清水 サラ 愛実

九州産業大学芸術学部

この夏のこと

「私は恵まれている」そういう温かさを感じた夏。楽しい毎日過ごした私は友達に囲まれ、家族会にも可愛がられて本当に幸せだと思います。

まず、7月8日から19日まで子弟招へい事業が行われました。8カ国から来た19名の子供と一緒に過ごした10日間は忙しかったけど、とてもいい経験でした。色んな国から来た子供たちのお互いの国の言語、文化や、習慣の交流を見るのも面白かったです。福岡県の歴史をもっと深く学ぶことができ、美術館や博物館の見学に参加し、私たち福岡県移住者子弟留学生は本当に恵まれていると思います。

セミの鳴き声を8月のサウンドトラックに、この夏休みは楽しい思い出をたくさん作りました。日本の最高の暑さを感じ、汗びっしょりになってあちこち歩き回りました。

浴衣の着付けはまだちょっと下手なのでゆるゆるさを感じながら久留米の夏祭りへ行きました。あんなに素晴らしい花火大会は初めてなので見たことなかった花火の色やサイズを感心しながら嬉しさに包まれ泣きそうでした。

その次の日に北九州でハイキングをしました。10キロぐらい歩いたと思います。九州から本州まで歩き渡り、冒険者みたいに地図を持ちながら北九州から下関、そして巖流島の見学もしました。運動はたくさんできましたが、食べる量もすごかったです。新鮮なお寿司やアツアツの焼きうどんをいただきました。

熊本でのボランティア活動で「自然の力」は破壊者として現れるのを確かめることができました。少しでも被災者を手伝えることができ嬉しかったです。避難所のシャワーとお風呂を洗い、廊下とロビーをきれいにしました。

大分県、湯布院と別府の地獄温泉やその周りの山脈で自然の力に触れ、「私は今生きている」と大変満足しました。

9月に入って、私は兄が住んでいる島根県出雲市へ行きました。出発日には台風警報がありましたが、お陰様で無事に移動できました。兄と久しぶりに会って、色々な面白い所へ連れて行ってくれました。出雲大社にはもちろん行きました。「ぐるっと松江堀川めぐり」の松江堀川遊覧船、とても素敵な足立美術館にも行きました。松江ヴォーゲルパーク (Voguel Park) にも行きました。そこで初めてオオハシにエサをあげることができました。本当は腕に飛んでくるはずが、私の頭の方がいいと思ったオオハシがいました。その時、とてもビックリしました。そして、初めてブドウ狩りもしました。木からちぎって食べるともっと美味しく食べられる感じがして、一時間の食べ放題でしたので、お腹がパンパンになって帰りました。

兄は働いているので二日間は、一人旅をしました。ずっと前から行きたかった所、広島市へバスで行って、広島城、平和記念公園、資料館に行きました。そこで、原爆で亡くなられた方の写真や服を収集しているのを見て私は泣きそうでした。資料館を出た後、言葉にできないほど悲しかったで

す。次の日、心が静まってから廿日市市で弥山に登り、何回か滑りましたが運動不足の私にはとてもいい体験でした。

もう日本へ来て6ヶ月経とうとしています。こんなにいっぱい日本を楽しめて「私は恵まれている」と思いながら感謝して、これからも大学も日常生活も頑張っていきたいと思います。



ブラジル福岡県人会

池尻 直美 カレン

九州大学大学院 薬学府

この夏のこと

7月に県人会担い手育成招へい事業が行われました。今年参加した国はブラジル、パラグアイ、ボリビア、コロンビア、ペルー、アルゼンチン、メキシコ、カリフォルニア、ハワイでした。大人10人と子供たち19人が一緒に交流し、2週間、彼らはルーツを知るために日本に来ました。私はそれぞれの国の子供たちのことを少し知る機会を持ってました。我々はいくつかの活動をしました。例えば、宗像市の小学生や和太鼓グループとの交流、博物館や北九州市内への視察、茶道体験、トヨタ自動車九州工場見学、副知事と議長表敬訪問、浴衣着付体験、手巻き寿司作り体験。さらに、週末に引率者と子供たちは自分の家族と一緒にホームステイをしました。そのプログラムで子供たちは他国の友人たちとともに、日本と触れ合うことができるので面白かったです。子どもたちが家族の起源を知り、福岡県について理解することが重要です。それは短い期間でしたが、多くの友人を作り、たくさんの良い思い出になりました。

8月の最初の日、久留米で家族会と私とで浅野さんの親戚を訪問しました。その後で女子たちは花火大会へ行くために浴衣を着ました。美しい、さまざまな形の花火を見ました。次の日、私たちは、北九州市に行き、山口県に到達する地下トンネルを渡って歩きました。夜は小倉城の近くの別の祭りに行ってきました。

博多では、ブラジルフェスティバルイベント(Festa do Brasil)で山口さんの売店の手伝いに行きました。何人かの知り合いと再会しました。色んな音楽と食品で私の国の多くのことを知る機会があったので、私の国を再認識しました。

このしまアイランドパークへ行きました。その日は暑かったので十分に楽しむことができました。海の景色はとても美しかったです！

15日に私たちは家族会と今年4月に起きた地震で避難中の人々の手助けをするためにボランティアとして熊本県に行ってきました。それぞれがグループに分かれて、役割を持っていました。私のグループは、シャワーと避難所を掃除しました。全員、大分県の武藤さんの家で夜を過ごしました。その後、別府を散策しました。色んな違う色の温泉を見ました。

8月24日、ブラジルの友人、キヨシと再会するために大阪へ行きました。彼は私たちに市内のいくつかの観光スポットを案内してくれました。例えば、串カツ、お好み焼き、たこ焼き等の大阪地域の典型的な料理を食べました。次の日、早起きしてUSJへ行きました。天気が良かったので友達と一緒に多くのアトラクションに行き、素敵でした。非常に疲れて帰ってきましたが、十分に楽しみました。次の日の午前中に、私たちは、東大寺や多くの鹿を見るために奈良に行ってきました。その後、私たちとキヨシは京都へ行って彼の家に泊まりました。様々な所を見てきました。例えば、伏見稲荷大社、清水寺、銀閣寺、金閣寺と大覚寺。私たちは、日本で最も美しい封建時代の城と考えられている姫路城を見に行きました。2人のブラジルの友達と会うために岡山県に行ってきました。大久野島で野生のウサギをたくさん見ました。夜、広島で美味しいお好み焼きを食べました。広島平和記念資料館、原爆の子の像と原爆ドームを見に行きました。そこで、原爆被爆者の報告書を見て、とても感動しました。夕方に宮島でサンセットを見て本当に面白かったです！そして、最

後の日に（9月1日）もう一度宮島へ厳島神社を見に行きました。そこで弥山に登りました。景色は素晴らしかったです！帰り道、山口県の有名な橋を見に行きました。錦帯橋と言う橋です。そして、私たちは福岡に戻りました。

今回の夏休みにたくさん撮った写真で決して忘れないすばらしい良い思い出の記録を作成します。

パラグアイ福岡県人会

山崎 亜希

中村学園大学 栄養科学部

この夏のこと

「今日も暑いね」何度言っても吹き飛ばせない日本の猛暑、毎日の体力試し(夏バテ)を忘れさせるような貴重な時間が始まろうとしていました。

「いただきます・ごちそうさま」1日の始まりと終わりを告げる聞き慣れた元気でパワフルな移住者子弟招へいの子供達、サッカーボールひとつで友達になってしまう言葉の壁を感じさせない素晴らしいプログラムです。8ヵ国から集合してそれぞれ共通のルーツを知るため最高のチャンス。そして日本の小学生とたくさんの交流を通して、様々なゲームを覚え、伝統的文化を体験することが出来ました。そんな忙しくも楽しかった12日間で今では少し寂しく思えます。

まさか日本で弟に会えるなんて想像もしていませんでした。たった3ヶ月半ぶりでしたが、心の奥底から溢れ出す笑みをそのまま顔に出してしまう自分がいました。そんな感動的な再会も「姉ちゃん太ったね」の一言でぶち壊してしまった空気の読めない幼い弟。たったの一週間でしたが大勢の方にお世話になりながら東京の周辺で過ごしました。

それからと言うもの私の中に潜んでいた日本人としての気持ちが目覚めるイベントが立て続けにありました。音だけではなく空いっぱい咲く久留米での迫力満点の花火、心まで温まる温泉巡り、色めき賑わう「わっしょい百万夏祭り」、日焼け防止しながらのハイキング、少しでも人のためにと参加した熊本でのボランティア活動、京都の神社仏閣で手を合わせ、目の保養となる可愛いけど襲われそうになった奈良の鹿、下関の港で食べた新鮮で絶品の握り寿司!

小さな夢と大きな目標が叶いました。日本のシンボルでもある富士山の登山を無事に生還できたのです。先輩からの話も聞き、覚悟はしていましたが、やはり想像以上の難易度でした。当日に台風10号が来てバスがキャンセルになり、タクシーで五合目まで行くはめになってしまいました。頂上に近づけば近づくほど息使いも荒くなって、休み休みゆっくりと夜通し登りました。けれどご来光を見た瞬間に全部報われた気がしました。

また、たくさんの「初めまして」での親戚訪問。神奈川、愛知、大阪、埼玉、北九州、糸島、親切に私を迎えてくださり、共に食事をし、観光や会話そしてお泊まりまでととても居心地のいい空間を与えてくれました。

「久しぶり〜」と大きな声で抱き合う、幼馴染みとの再会もたわいのない会話をしているだけで舞い上がっていて、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。

行き先構わずたくさんの見知らぬ方に優しくサポート、親切にしてください「一期一会」を大切に改めて思いました。

ペルー福岡クラブ

松藤 福田 カルロス アウグスト

九州造形短期大学 造形芸術学科

この夏のこと

8月に夏休みがはじまりました。色々なところに行きました。すごく楽しかったです。私は、久留米の夏祭りではじめて日本で2時間ぐらい花火を見ました。花火は大きくて、きれいでした。

家族会のボランティアイベントがあり、熊本に行きました。地震の被害を見たのが、悲しかったです。次の日、別府の地獄温泉に行きました。その日は、暑かったです。血の池地獄が、好きでした。

静岡へ富士山に登りに行きました。福岡ではじめて新幹線に乗りました。とても速かったです。次の日、富士山に行きました。台風の影響で五合目まで登るバスがありませんでした。だから、タクシーで行くことに決めました。ラッキーだったと思いました。8時間ぐらいかけて登りました。道は長くて、難しかったです。富士山の山頂は、とても寒かったです。きれいでした。日の出を見ました。いい経験でしたが、一度で満足です。

それから、大阪に行きました。大きい町です。USJに行きました。楽しかったですが、その日はすごく暑かったです。人が一杯でした。まず、ジュラシック・パークのザ・フライング・ダイナソーに乗りました。それは、USJの一番速い乗り物です。怖かったです。おもしろかったです。それから、ジュラシック・パークザ・ライドに行きました。川を渡って進み、恐竜がいました。最後に、T.レックスがあらわれました！その後には昼ごはんを食べて、ハリー・ポッターのエリアに行きました。まず、ホグズミード街を歩きました。たくさん店がありました。ハリー・ポッターの乗り物に乗るのに3時間待ちました。とても暑かったです。その乗り物は、ホグワーツ・キャッスルの中です。3Dめがねをかけて、乗り物に乗りました。すごくおもしろかったです。私の一番好きな乗り物は、ハリウッド・ドリームスのバック・ドロップです。その絶叫マシンは、バックで進みました！

大阪から奈良に行きました。たくさん鹿がいました。鹿煎餅を買ったので、鹿は私についてきました。面白かったです。それから、東大寺で仏像を見て、とても大きくてびっくりしました。

京都では伏見稲荷大社と平等院に行きました。伏見稲荷大社にはたくさん鳥居がありました。きれいでしたが、時間が短かったので全部は見られませんでした。私は、もう一回行きたいです。平等院が好きでした。鳳凰堂と浄土庭園はきれいでした。次の日、清水寺に行きました。それから福岡に帰りました。

9月10日、家族会のイベントがありました。ぶどう狩りをしました。日本のぶどうは大きくて、甘いです。後でぶどうを食べましたが、おいしかったです。私は、たくさんぶどうを買いました。

中洲ジャズ2016に行きました。この無料イベントは、いろいろなステージがありました。私の一番好きな楽団は、AMG (Advanced Music Gallery) でした。その楽団は、フランク・シナトラの歌を弾きました。「My way」は、すごく好きです。

これからもよろしくお願ひします。

在ボリビア福岡県人会

八田 生香

福岡医療専門学校

柔道整復科 / 鍼灸科

この夏のこと

3年前、引率者として子弟招へい事業に参加し初めて福岡を訪れ体験した事を、今年は留学生としてサポートしたところ、また別の視点から観察することができました。「あれれ、こんなに忙しくて楽しかったかな?！」

共通点はルーツだけの子供たちが様々な国から福岡で出会い、短い期間で友達になって慣れた頃に帰って行く。異文化交流をしながら日本伝統を学んでいくとても充実したプログラムだと思いました。笑いあり、疲労あり、新発見あり。長いようでとても短い二週間で疲れ知らずの子供たちと満喫しました。暑さに負けずそれぞれが楽しめたことが、「また来たい」という気持ちに繋がって県費留学生として再び福岡を訪れる事を願っています。

8月に入り、本格的に夏がやってきました。「暑っつ〜い...」と何回つぶやいたんだろう。私の中で最も連発した言葉です。猛暑とはこの事だったのか...!!

表も裏も太陽に焼かれながら歩いた北九州。迫力あるお祭りや、自分で浴衣を着て特等席で見る盛大な花火、県内をちょっと遠出したり。どれもこれも感動的で日本ならではの貴重な過ごし方でした。

さてさて、夏休みは始まったばかり。私は長らくご無沙汰していた友人や親戚を訪ねて東京へ行きました。しばらくぶりの再会は心地よく、友との絆を再確認する良いきっかけになり、一味も二味も違う思い出を残してくれました。別れを惜しみながらも自分はとても良い環境と人達に恵まれている。そう実感できたのは、この夏のある暑い一日のことでした。

ふと気づくと一周り大きくなっている自分がいて、あわててみんなを巻き込んでジョギングを始めたのは良いけれど、これまでの運動不足が重くのしかかってきます。走り終えたあとはちょっぴり優越感。

県費仲間で行ったUSJ。いい大人が子供以上にはしゃぎました。奈良で出会った人慣れしている鹿たちは、おせんべい持ってない奴は用無しと。行く先々の神社やお寺で縁結びの神様に手を合わせて念入りをお願いしました。こうして道中で得た友人や出来事がたくさん集まり私のスマホを重くしていくのでした。旅の終盤に差し掛かりトラブルもあったけれど、「なんのこれしき!」と半端なく疲れて寮にたどり着きました。「終わり良ければすべて良し。」と言うことで楽しい思い出と一緒に記憶に残ることでしょう。

あ〜っ、月曜から始まる二学期がしんどい…。夢は現実の中に、現実が夢の中に、そして真実は心の中に。久しぶりの早起きにまだ眠い体を起こし、今日も私は小走りで駅へ向かっていくのでした。